



# 児童労働ネットワーク(CL-Net)

## 2009 年度活動・決算報告

2010 年 10 月

## 2009 年度活動報告

(報告期間：2009 年 10 月～2010 年 9 月、12 ヶ月間)

### 2009 年度活動計画

#### <年間基本方針>

2004 年の発足以降、2009 年度で 5 周年を迎え、児童労働ネットワークの活動も積み重ねを経て充実化し、また会員、キャンペーン賛同団体も拡大してきた。

2009-10 年度は 6 月 12 日の児童労働反対世界デーに合わせたキャンペーンを軸として展開し、さらなる活動範囲、参加者の拡大を目指す。アドボカシー活動は、内部研究会を積み重ねて提言内容をまとめ、日本政府を対象とした提言活動を継続して行う。キャンペーンを活用して、市民の参加を提言活動につなげていく。

#### <2009 年度全体の総括>

今年度は、昨年度に引き続き児童労働反対世界デー・キャンペーンを中心に活動を展開した。毎年増加している会員団体・キャンペーン賛同団体は計 36 団体となり、署名も 20 万 36 筆が集まり各省庁への提出と要請に向けて準備を進めている。2010 年 7 月には、昨年度の署名の要請事項であった定期協議会の開催に向けた「児童労働に関する意見交換会」を、外務省と厚生労働省の主催で開催するまでに持っていくことができた。

国際的なネットワークの構築も昨年度に引き続き取り組んだ。2010 年 5 月に開催された児童労働に関する国際会議・ハーグ会議（オランダ）に児童労働ネットワークとして出席し、海外の NGO や労働組合との意見交換、関係構築も実施した。課題となっている財政基盤の強化については、昨年度に製作した缶バッジの継続販売の他、クリック募金を開始し新たな財源確立に努めている。

### 1. 児童労働理解促進のためのキャンペーンの実施

- ・2010 年 4 月 12 日～6 月 30 日にかけて「児童労働反対世界デー・キャンペーン 2010」を開催した。児童労働ネットワークの 20 会員団体及び 16 キャンペーン賛同団体により、期間中 24 イベントが開催され、約 1 万人の参加を得た。

※キャンペーン実施内容及び決算については、資料児童労働ネットワーク短信第 15 号を参照されたい。

- ・キャンペーン賛同イベントの 1 つである「チャリティー・バザール」（主催：特定非営利活動法人日本ファイバーリサイクル協議会、2010 年 6 月 6 日開催）へ児童労働ネットワークとして出展し、缶バッジの販売、署名活動、団体紹介を行った。

### 2. キャンペーン メインイベントの実施

- ・2010 年 6 月 12 日（土）に文京学院大学仁愛ホール（東京都文京区）にて、NGO 一労働組合国際協働フォーラム、ILO 駐日事務所、児童労働ネットワークの三者共

催で「児童労働反対世界デー・イベント 映画上映会&シンポジウム児童労働の今、そして未来」を開催した。総勢約 60 名のスタッフにより運営され、428 名の参加を得た。映画上映会では、ケニアのストリートチルドレンを映したドキュメンタリー映画『チョコラ!』を上映し、監督の小林茂氏をお招きしてお話いただいた。シンポジウムでは、児童労働ネットワーク会員及び運営委員から（特活）ソルト・パヤタス、（社）アムネスティ・インターナショナル日本、（特活）ACE、長谷川真一氏（ILO 駐日事務所 駐日代表）、長坂寿久氏（拓殖大学 国際学部 教授）、堀内光子（児童労働ネットワーク代表）が登壇し、講演及びパネルディスカッションを行った。会場には昨年度に引き続き NGO 活動紹介デスクを設置し、会員団体とキャンペーン賛同団体に多く出展いただき、児童労働に関する活動紹介の機会となった。

※詳細は児童労働ネットワーク短信第 15 号を参照されたい。

・児童労働反対世界デーキャンペーンメインイベントの主催団体の会議である三者会議に出席し、イベントの企画・運営について審議を行った。

### 3. 政策提言活動

2009 年度は政策提言活動として、署名活動、児童労働に関する意見交換会、昨年度（2008 年度）の署名提出を行った。

#### 1) 署名活動「児童労働をなくそう！10 万人署名」

2007 年度から実施している署名活動を今年度も実施した。「児童労働をなくそう！10 万人署名」を 2010 年 4 月 12 日～7 月 31 日（当初の締切は 6 月 30 日、期間を延長）に呼びかけ、20 万 36 筆の署名が集まった。外務省、厚生労働省、文部科学省への提出については、9 月の提出を目指してアポイントメントを試みたが、政治情勢を鑑みて 10 月に延期することとした。

※署名文を本項目の最後に記載している。参照のこと。

#### 2) 「児童労働に関する意見交換会」の開催

2010 年 7 月 1 日、外務省と厚生労働省の主催で「児童労働に関する意見交換会」が開催された。これは、昨年度の署名の要請事項「4. 以上のことを実現するために、関係省庁と JICA、NGO、労働組合等が意見交換を行う会議を開催し、定期的な協議の場を設置してください」について、要請に対応する形で実現された。当日は児童労働ネットワークから 3 名が参加し、連合、日本経団連、ILO 駐日事務所、ユニセフ駐日事務所、世界銀行東京事務所、国際協力機構、文部科学省、厚生労働省、外務省の関係者と意見を交わした。

### 3) 昨年度の署名提出

総選挙・政権交代の影響で提出が遅れた2008年度の署名74,396筆を2010年10月、11月に外務省、厚生労働省、文部科学省の各大臣又は副大臣へ提出し、要請を行った。

提出先：外務省 …福山哲郎副大臣  
文部科学省…川端達夫大臣  
厚生労働省…細川律夫副大臣

### 【2009年度「児童労働をなくそう！10万人署名」 署名文】

児童労働撤廃に向けた行動計画策定を！

外務大臣殿

文部科学大臣殿

厚生労働大臣殿

世界には2億人を超える子どもたちが、十分な教育を受けられないまま、児童労働を強いられています。アフリカでは約3人に1人の子どもが児童労働に従事しています。貧困が原因で働かざるをえない子どもがいるのは、日本も例外ではありません。

「最悪の形態の児童労働」(\*1)をなくすことを、国際社会は2006年に約束しました(\*2)。2010年5月10日、11日にオランダのハーグで開催される児童労働に関する国際会議では2016年までに「最悪の形態の児童労働」をなくすためのロードマップを作成することになっています。

国際条約の締約国として、日本もまた、「最悪の形態の児童労働」を根絶するために、具体的な措置を直ちに講じることが義務付けられています。

日本政府は直ちに、世界中から「最悪の形態の児童労働」を根絶するための、日本の行動計画を策定してください。それを実施する中で、必要となる資金について予算措置を講ずるとともに、国際協力を強化してください。

\*1 「最悪の形態の児童労働」とは、ILO182号条約に定められている、撤廃に向けた即時の行動が求められる児童労働を指します。債務労働、人身売買、子どもポルノ・買春、子ども兵士、危険・有害労働等を指します。日本は2001年にこの条約を批准しました。

\*2 2006年ILO総会決議

#### 4. 国際的なネットワークの構築

2010年5月10日、11日にオランダ・ハーグにて開催された児童労働の国際会議「ハーグ会議」に児童労働ネットワーク代表・堀内が出席した。2008年度の本項目の活動でイベント招聘を予定していたジェラルド・オヌック氏(Stop Child Labour Campaign)のご協力もあり、会議からインビテーションを得ることが出来た。会議期間中は海外のNGOや労働組合と接する機会にも恵まれ、意見交換や児童労働ネットワークの紹介、関係構築を実施することができた。

※ハーグ会議の出席に際し助成金を申請したが落選したため、代表・堀内が自費でオランダへ渡航し会議に出席した。そのため、本件にかかる費用が支出として挙がっていない。

#### 5. 資金調達活動

例年の課題となっている資金調達活動について、今年度は昨年度に製作した缶バッジの継続販売の他、助成金への申請、クリック募金を新たに開始した。缶バッジは今年度282個を販売し、90,000円の収益となった。助成金はハーグ会議への出席とウェブサイトのリニューアルに関して2件申請したが、通過には至らなかった。クリック募金は2010年5月から開始し、今年度分は544円の収益があった。また、2008年度に助成を受けた草の根市民基金・ぐらんへ報告書を作成・提出し、2010年9月に報告会へ参加した。

#### 6. 参加団体の拡大と活性化

首都圏以外に事務所を構える団体が参加をしやすいよう、2008年度の児童労働ネットワーク総会(2009年10月)において出席への交通費助成を行った。2010年1月には児童労働反対世界デー・キャンペーン2010の事前説明会を開催し、キャンペーン賛同団体の拡大と積極的な参加の促進に努めた。2010年4月のキャンペーン開始日にはキャンペーンキックオフとして交流会を行い、会員及びキャンペーン賛同団体の交流の場を提供した。

#### 7. 広報活動の強化

ウェブサイトのリニューアルを行い、2010年8月に公開した。コンテンツの充実、アクセシビリティの向上、更新作業効率の改善を図り、児童労働ネットワークの活動の対外的発信力を強化した。また、当初年度内に予定していたウェブサイト英語ページの作成は実施に至らなかったため、来年度の実施を予定している。作成は会員団体である(特活)かものはしプロジェクトへ依頼し、嶺脇氏へも構築を依頼した。当初予定していた名刺及び名刺シールの作成は実施しなかった。その他、児童労働反対世界デー・キャンペーンの開始時にプレスリリースを発行し、

会員団体、キャンペーン賛同団体の協力を得て各メディアへ発信した。キャンペーンに関してメディアからの電話取材を受け、また Twitter を活用した広報も実施した。

## 8. その他

- 運営委員会を計 11 回開催し、円滑な事業運営を図った。
- 運営委員会は会員団体へもオブザーバー参加を募り、事前の案内と事後の報告を行い組織の透明性を強化した。
- 児童労働ネットワークのウェブサイトの運営、ウェブサイトのリニューアル、問い合わせへの対応、キャンペーン事務局の業務、連絡調整等を事務局が行った。
- NGO-労働組合国際協働フォーラムが開催した連携事例報告会（2010 年 7 月）で、NGO と労働組合の協働事例として児童労働ネットワークの活動を共有した。
- 事務局は昨年度まで（特活）ACE のスタッフ 1 名とインターン 1 名が担っていたが、今年度は（特活）ACE のスタッフ 2 名が担当した。
- 特にキャンペーン期間中及びその後の署名集計に関して、事務局（特活）ACE のインターンとボランティアの協力を得た。

## 2009 年度決算報告

【収入】			単位 (円)
科目	2009年度予算	2009年度決算	内訳等
<b>1. 会費収入</b>	<b>436,000</b>	<b>418,000</b>	
(1) 正会員	435,000	415,000	団体会員 1万円×40口(昨年度未収分2口を含む) 個人会員 5千円×3口
(2) 協力会員	1,000	3,000	個人協力会員 1千円×3口
<b>2. 寄付金収入</b>	<b>10,000</b>	<b>8,380</b>	
<b>3. 事業収入</b>	<b>725,000</b>	<b>437,535</b>	
(1) キャンペーン	275,000	272,778	
(2) イベント、その他	30,000	0	
(3) 缶バッジ他	420,000	164,757	缶バッジ：卸販売(300円)255個、直接販売(500円)27個 他：6/12「チョコラ！」委託販売、クリック募金
<b>4. 助成金収入</b>	<b>2,000,000</b>	<b>0</b>	2件申請したが通過せず
<b>5. その他収入</b>	<b>0</b>	<b>92</b>	利息収入
<b>当期収入合計 (A)</b>	<b>3,171,000</b>	<b>864,007</b>	
<b>前年度からの繰入金</b>	<b>388,920</b>	<b>396,226</b>	予算作成時に2008年度のキャンペーン支出の重複計上があり、決算は予算より7,306円多くなっている。
<b>収入合計 (B)</b>	<b>3,559,920</b>	<b>1,260,233</b>	
【支出】			
科目	2009年度予算	2009年度決算	内訳等
<b>1. 事業費</b>	<b>3,150,000</b>	<b>570,286</b>	
(1) キャンペーン	500,000	319,267	
(2) 提言活動	100,000	0	署名用紙のデザイン及び印刷費、外務省などへの働きかけ交通費を予定していたが、提出されなかった
(3) 国際ネットワーク連携	2,000,000	0	オランダの国際会議への渡航費等として計上、助成金が得られなかったため代表が実費で参加
(4) 資金調達活動	250,000	61,059	6/12「チョコラ！」書籍・DVDの委託販売
(5) 参加団体の拡大と活性化	40,000	10,000	会員総会への出席の交通費補助(5000円×2団体)
(6) 広報活動	250,000	179,960	ウェブサイトリニューアル(業務委託費：126,000円+5万円、交通費)
(7) イベント・その他	10,000	0	
<b>2. 管理費</b>	<b>348,000</b>	<b>318,996</b>	
(1) 通信費	10,000	5,325	送料
(2) 消耗品費	20,000	8,112	封筒、紙等、ファイル、電卓、児童労働ネットワーク専用の金庫(5880円)
(3) 印刷費	70,000	62,179	印刷機・コピー機利用代 短信入稿・印刷代
(4) 事務局運営費	240,000	240,000	20000円×12カ月
(5) ウェブ維持費	8,000	3,380	ドメイン管理料、サーバー代
<b>3. 予備費</b>	<b>61,920</b>	<b>1,365</b>	振込手数料
<b>支出合計 (C)</b>	<b>3,559,920</b>	<b>890,647</b>	
<b>当期収支差額 (A)-(C)</b>	<b>-388,920</b>	<b>-26,640</b>	
<b>収支合計 (B)-(C)</b>	<b>0</b>	<b>369,586</b>	
<b>次年度への繰越金</b>	<b>0</b>	<b>369,586</b>	

## 【参考資料】正会員団体・個人（2010年9月末時点）

### ■団体正会員（20団体）

- （特活）アジア日本相互交流センター（ICAN）
- （社）アムネスティ・インターナショナル日本
- （特活）ACE
- （特活）エファジャパン
- （特活）かものはしプロジェクト
- （特活）国際子ども権利センター  
国際食品労連日本加盟労組連絡協議会（IUF-JCC）
- （財）国際労働財団（JILAF）
- （特活）グッドネーバーズ・ジャパン  
グローバル・ヴィレッジ
- （社）セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
- （特活）テラ・ルネッサンス
- （特活）ソルト・パヤタス
- （特活）日本オーガニックコットン流通機構  
日本労働組合総連合会  
働く子どもの『遺産と伝説』キャンペーン
- （特活）フリー・ザ・チルドレン・ジャパン  
UIゼンセン同盟  
フード連合  
フェアトレード・リソースセンター

### ■個人正会員（敬称略）（4名）

- 長谷川 真一
- 長坂 寿久
- 與座 初美
- 堀内 光子

以上